

京都府立木津川運動公園（北側区域）整備事業の魅力向上に向けた  
サウンディング型市場調査 参考データ集

目次

	頁
1. 民間事業者が整備可能な公園施設	1
2. 府立木津川運動公園整備の経緯	3
3. 府立木津川運動公園（南側区域）の利用状況	4
4. 周辺地域の人口構造	6
5. 周辺公園の状況	9
6. 将来土地利用計画（城陽市東部丘陵地）	11
7. 将来道路計画	12
8. 計画地の地盤条件	14
9. 計画地のハザードマップ	17

# 1. 民間事業者が整備可能な公園施設

都市公園法の公募設置管理制度（Park-PFI）に基づき民間事業者が公園内整備することができる公園施設の種類の種類は次のとおりとなっています。

## ■公園施設の種類の種類と公募対象公園施設として設置することができる公園施設

注：      公募対象公園施設として設置することができる公園施設

施設種類	法第2条第2項・施行令第5条の規定
園路広場	・園路、広場
修景施設	・植栽、芝生、花壇、いけがき、日陰たな、噴水、水流、池、滝、つき山、彫像、灯籠、石組、飛石、その他これらに類するもの (施行令第5条第1項)
休養施設	・休憩所、ベンチ、野外卓、ピクニック場、キャンプ場、その他これらに類するもの ・都市公園ごとに、地方公共団体の設置に係る都市公園にあつては当該地方公共団体が条例で定める休養施設、国の設置に係る都市公園にあつては国土交通大臣が定める休養施設 (施行令第5条第2項)
遊戯施設	・ぶらんこ、滑り台、シーソー、ジャングルジム、ラダー、砂場、徒渉池、舟遊場、魚釣場、メリーゴーラウンド、遊戯用電車、野外ダンス場その他これらに類するもの ・都市公園ごとに、地方公共団体の設置に係る都市公園にあつては当該地方公共団体が条例で定める休養施設、国の設置に係る都市公園にあつては国土交通大臣が定める遊戯施設 (施行令第5条第3項)
運動施設	・野球場、陸上競技場、サッカー場、ラグビー場、テニスコート、バスケットボール場、バレーボール場、ゴルフ場、ゲートボール場、水泳プール、温水利用型健康運動施設、ボート場、スケート場、スキー場、相撲場、弓場、乗馬場、鉄棒、つり輪、リハビリテーション用運動施設、その他これらに類するもの及びこれらに附属する観覧席、更衣所、控室、運動用具倉庫、シャワー、その他これらに類する工作物 ・都市公園ごとに、地方公共団体の設置に係る都市公園にあつては当該地方公共団体が条例で定める運動施設、国の設置に係る都市公園にあつては国土交通大臣が定める運動施設 (施行令第5条第4項)
教養施設	・植物園、温室、分区園、動物園、動物舎、水族館、自然生態園、野鳥観察所、動植物の保護繁殖施設、野外劇場、野外音楽堂、図書館、陳列館、天体又は気象観測施設、体験学習施設、記念碑その他これらに類するもの ・古墳、城跡、旧宅その他の遺跡及びこれらを復原したもので歴史上又は学術上価値の高いもの ・都市公園ごとに、地方公共団体の設置に係る都市公園にあつては当該地方公共団体が条例で定める教養施設、国の設置に係る都市公園にあつては国土交通大臣が定める教養施設 (施行令第5条第5項)
便益施設	・飲食店 <sup>*</sup> 、売店、宿泊施設、駐車場、園内移動用施設及び便所並びに荷物預り所、時計台、水飲場、手洗場その他これらに類するもの (施行令第5条第6項) ※飲食店：風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第二条第四項に規定する接待飲食等営業に係るものを除く
管理施設	・門、柵、管理事務所、詰所、倉庫、車庫、材料置場、苗畑、掲示板、標識、照明施設、ごみ処理場（廃棄物の再生利用のための施設を含む。）、くず箱、水道、井戸、暗渠、水門、雨水貯留施設、水質浄化施設、護岸、擁壁、発電施設（環境への負荷の低減に資するものとして国土交通省令で定める <sup>*</sup> ものに限る。）、その他これらに類するもの (施行令第5条第7項) ※規則第一条：1.風力発電施設、2.太陽電池発電施設、3.燃料電池発電施設、4.前三号に掲げる発電施設に類するもの
その他の施設	・展望台及び集会所 ・食糧、医薬品等災害応急対策に必要な物資の備蓄倉庫その他災害応急対策に必要な施設で、国土交通省令で定める <sup>*</sup> もの ※規則第一条の二：耐震性貯水槽、放送施設、情報通信施設、ヘリポート、係留施設、発電施設及び延焼防止のための散水施設 (施行令第5条第8項)

具体的な施設のイメージは次のとおりとなります。

公募対象公園施設の例	特定公園施設の例
<p>●街区公園を親子連れの交流と遊びの場に</p> <p>○便益施設 [カフェ等]</p>	<p>○遊戯施設 [滑り台、ブランコ等] ○便益施設 [トイレ]</p>
<p>●近隣公園を街なかの寛ぎ・憩いの場に</p> <p>○便益施設 [カフェ・レストラン、ショップ等]</p>	<p>○園路広場 [芝生広場] ○休養施設 [ベンチ等] ○修景施設 [花壇等]</p>
<p>●地区公園にまちの健康拠点を</p> <p>○運動施設 [フィットネスジム、ランニングステーション等]</p>	<p>○園路広場 [ジョギング用走路] ○便益施設 [駐輪場等]</p>
<p>●総合公園に環境と文化の創造・発信拠点を</p> <p>○教養施設+便益施設 [水族館(又は美術館)、レストラン、ショップ等]</p>	<p>○園路広場 [野外展示広場等] ○修景施設 [植栽等] ○管理施設 [発電施設、ごみ処理場等]</p>
<p>●既存の修景池のほとりに集いの空間を</p> <p>○集会所+便益施設 [イベントホール、ウエディング施設、レストラン等]</p>	<p>○園路広場 [庭園の回遊路] ○修景施設 [庭園植栽等] ○管理施設 [水質浄化施設]</p>
<p>●大規模イベント空間でまちの賑わいと防災拠点を</p> <p>○運動施設+便益施設 [野球場、アリーナ、駐車場等]</p>	<p>○園路広場 [多目的広場(防災広場)等] ○便益施設 [トイレ、照明施設等] ○管理施設 [雨水貯留施設、倉庫等]</p>

■公募対象公園施設と特定公園施設のイメージ例

## 2. 木津川運動公園整備の経緯

木津川運動公園は、平成7年度に2002サッカーワールドカップの開催候補地として事業を着手したものの落選し、その後、幅広い府民が利用できる公園として、平成26年に南側区域を供用開始しています。

本公園周辺では、中央部には令和5年度に新名神高速道路が通り、スマートインターチェンジや大型アウトレットモールの整備も進められています。将来的には、周辺の東部丘陵地全体が「城陽市東部丘陵地利用計画」に基づいて商業ゾーン、産業振興ゾーン、研究業務ゾーンなどとして開発が進み、近畿圏や中京圏を含めた広域から集客可能な、高いポテンシャルをもった地域として整備が進むこととなります。そのため、北側区域についても同時期（令和5年度）の開園を想定しています。

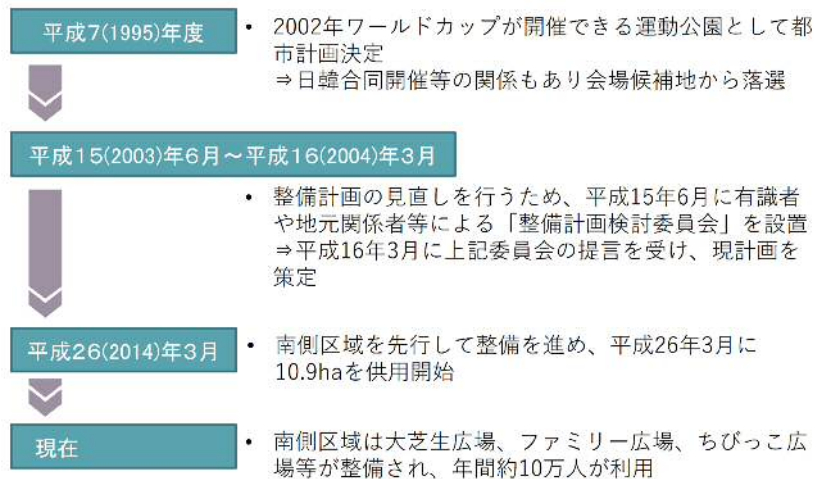
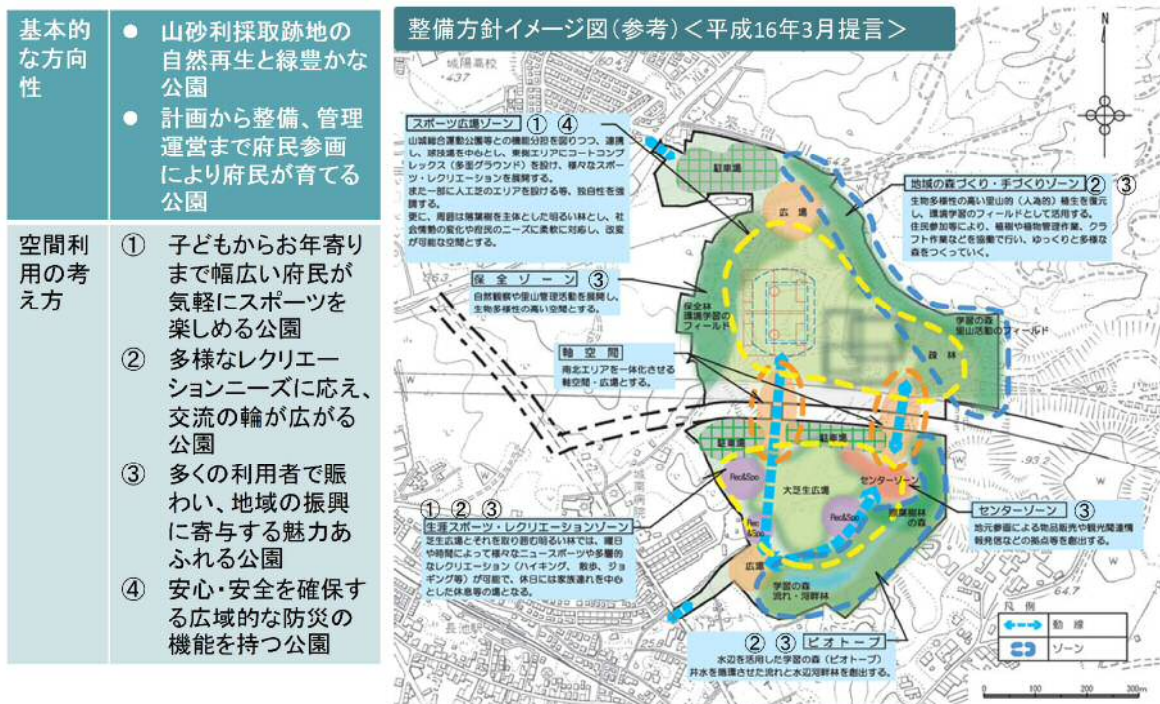


図-1 木津川運動公園整備の経緯



※①～④は「空間利用の考え方」

出典:「木津川右岸運動公園(仮称)整備計画策定に向けた提言」(木津川右岸運動公園(仮称)整備計画検討委員会,平成16年3月)

図-2 木津川運動公園(仮称)整備計画策定に向けた提言(平成16年3月)

### 3. 木津川運動公園（南側区域）の利用状況

#### ■南側区域の利用状況

- 南側区域は、幅広い世代が利用できるレクリエーションの場として整備され、現在指定管理者制度により公園の運営・維持管理を行っています。
- 公園利用者数は、平成 30 年度年間利用者数が 105,753 人となっており、平成 26 年度の供用開始以降、年々増加しています。なお、公園内施設及び駐車場は無料です。

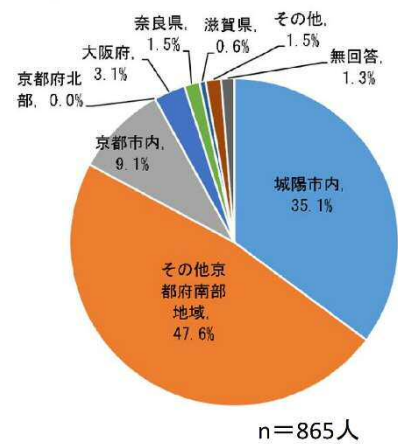


図-4 木津川運動公園（南側区域）の概況と利用者数

### ■府民参画による自然再生への取組

- 南側区域では、山城地域の里山風景の再生を目指し、平成 18 年度より森づくりのボランティア活動を開始しています。
- 現在の会員は約 50 人で、月 5~6 回程度の活動（苗木育成、植樹、植栽管理、環境学習等）を行っており、令和元年 9 月までに約 1 万本を植樹（内、平成 30 年度植樹 418 本）しています。

木津川運動公園(南側区域)  
平成30年度 再生の森づくり活動人数

	活動人数	割合
職員	93人	8.4%
森守	664人	59.7%
一般	355人	31.9%
合計	1,112人	100.0%



図-4 木津川運動公園（南側区域）の森づくり概況

#### 4. 周辺地域の人口構造

##### ■現状（2019年1月1日）

- 山城地域の人口は、これまで高度成長期からの人口流入で北中部を中心に著しく増加しており、近年では学研エリアで増加しています。
- 今後も人口増加が見込まれる学研エリアと、高齢化率50%に迫り過疎・高齢化が進む相楽東部地域が混在する地域となっています。

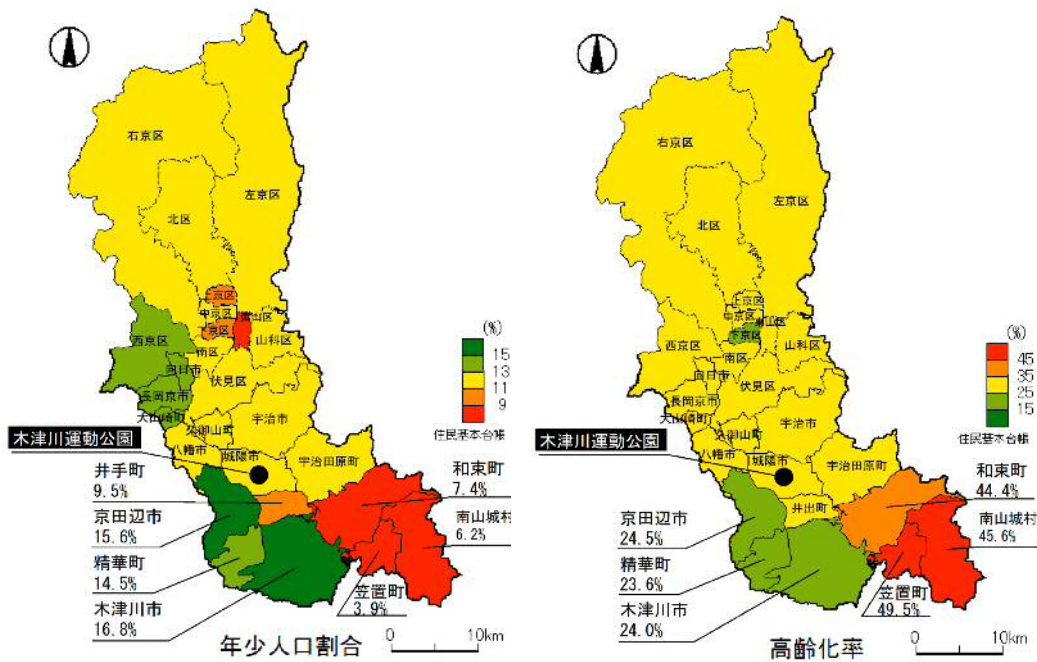
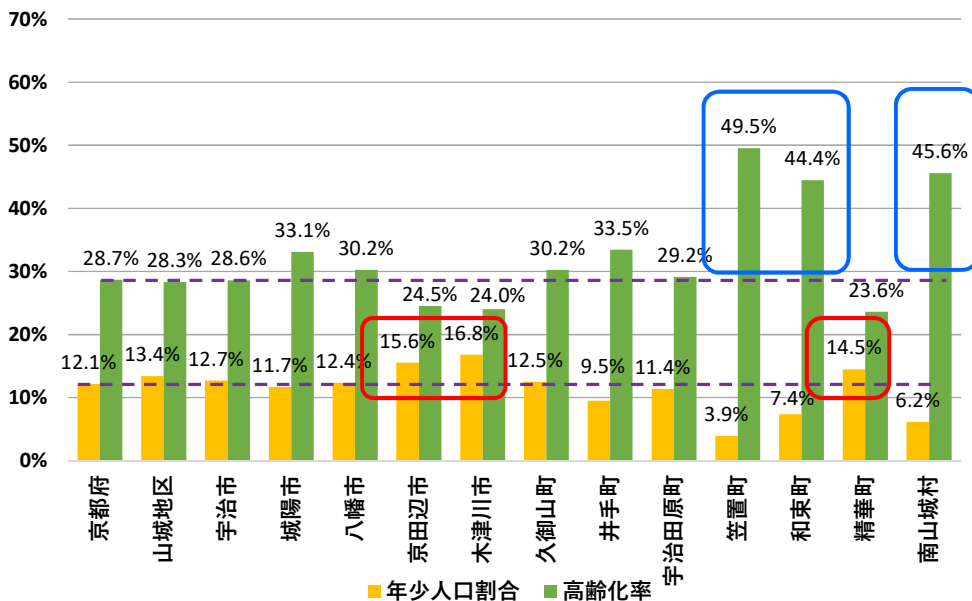


図-5 木津川運動公園（南側区域）の居住地域圏（約9割）



出典：「住民基本台帳年齢階級別人口」（平成31年1月1日現在）

図-6 木津川運動公園（南側区域）の居住地域圏の人口構成

■将来（2040年）

- 将来(2040年)では、京都府の高齢化率が上昇しますが、特に山城地域では、早くから人口流入した北中部で高齢化が進行、相楽東部では更に高齢化が進行し、学研エリアを除き、府内平均に比べて高い状況です。
- 学研エリアで依然として、府内全体より年少人口割合が高いことが推定されています。

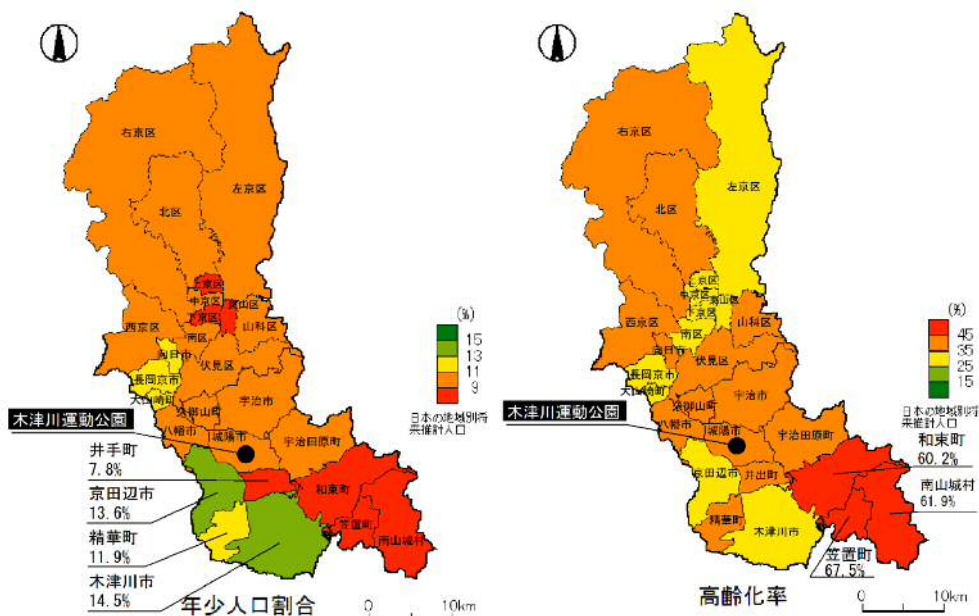
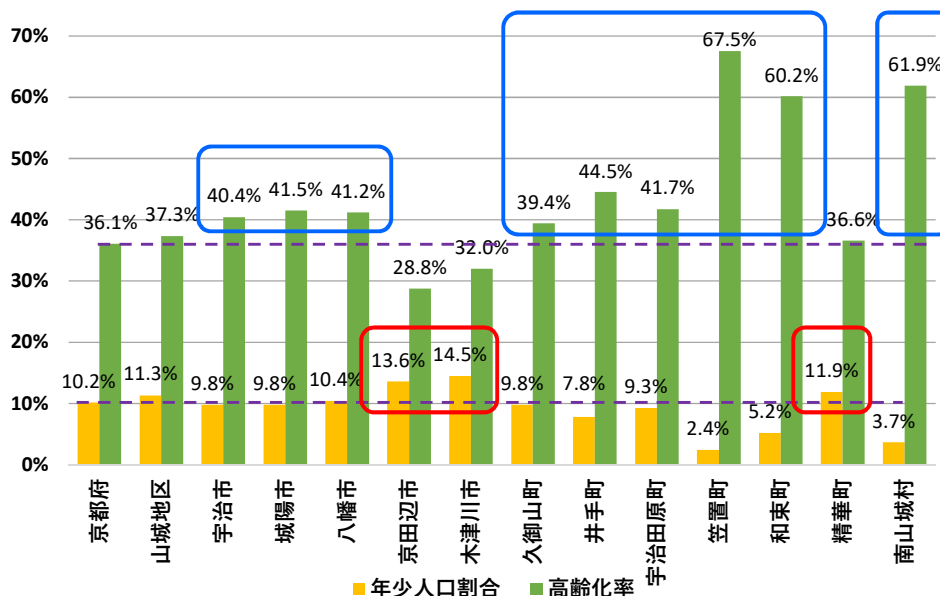


図-7 木津川運動公園（南側区域）の居住地域圏（約9割）【将来】



出典：「日本の地域別将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所,平成30年12月25日）

図-8 木津川運動公園（南側区域）の居住地域圏の人口構成【将来】



■山城地域の人口推移・推計



出典：実績値：国勢調査報告、推計値：国立社会保障・人口問題研究所・日本の地域別将来推計人口

図-9 山城地域の人口推移・推計

## 5. 周辺公園の状況

### ■配置状況

木津川運動公園周辺の公園の整備状況は、京都府立の山城総合運動公園や府民スポーツ広場、城陽市立の総合運動公園などが点在しています。

- ①京都府立山城総合運動公園  
 所在 宇治市広野町  
 面積 92.3ha  
 施設 陸上競技場、体育館、プール、球技場、野球場、弓道場 等
- ②城陽市総合運動公園  
 所在 城陽市寺田奥山  
 面積 16ha  
 施設 体育館、野球場、多目的広場、テニスコート等
- ③京都府立府民スポーツ広場  
 所在 久世郡久御山町  
 面積 9.7ha  
 施設 グラウンド、自由広場

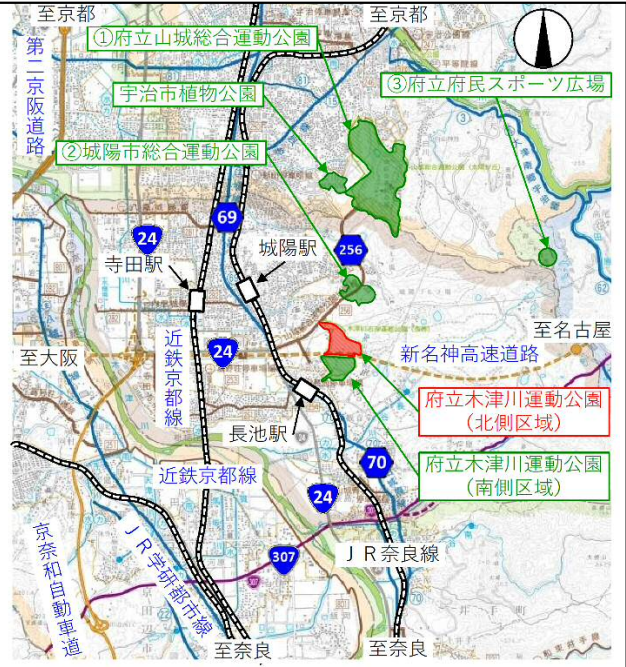
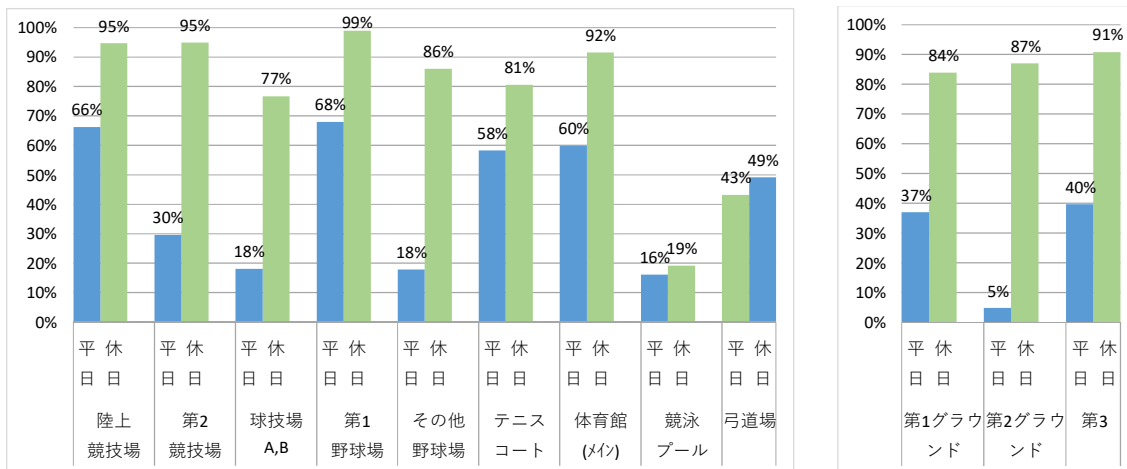


図-10 木津川運動公園の周辺公園位置図

### ■利用状況

- 府立公園に求められる高いスポーツレベルの大会は、毎年11月に他の府内施設を含めて年間利用調整がなされており、定例の記録会や公認大会は開催できています。
- 府立公園の休日の稼働率は、陸上競技場、球技場、野球場、体育館等で特に高くなっています。
- 府立公園の平日の稼働率は、20~60%台となっており、平日休日の稼働率の差が大きいです。

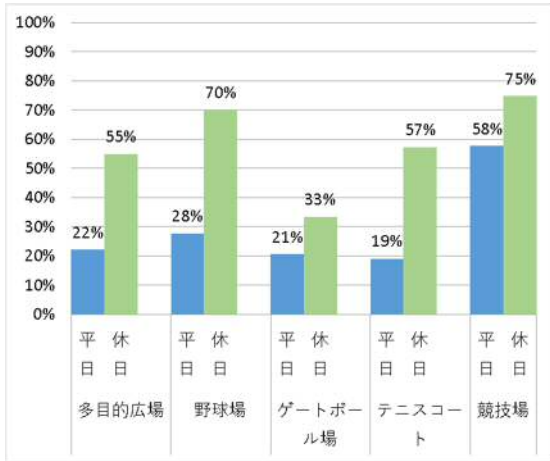


山城総合運動公園の施設稼働率(平成30年度)

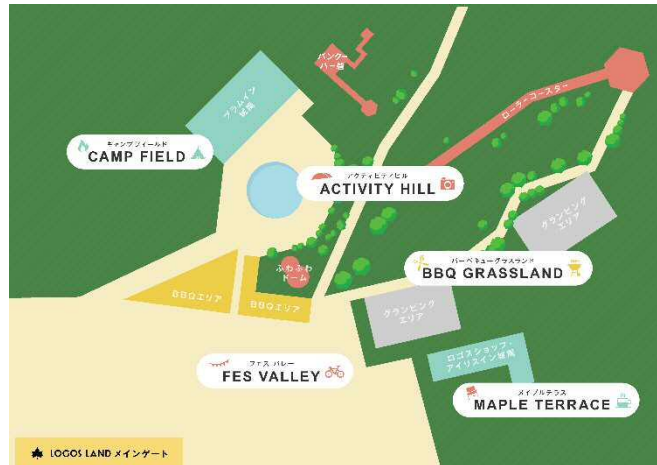
府民スポーツ広場の稼働率(平成30年度)

図-11 府立公園の施設稼働率の状況

- 城陽市総合運動公園の休日の稼働率は、野球場、体育館（競技場）で70%台となっています。
- 体育館（競技場）及び多目的広場は、ナイター設備があり、平日の夜間利用が見込めるため、平日と休日の稼働率の差が比較的小さくなっています。
- 令和元年6月に同公園敷地内に全天候型アウトドア施設（ロゴスランド）がグランドオープンしています。



城陽総合運動公園の施設稼働率(平成30年度)

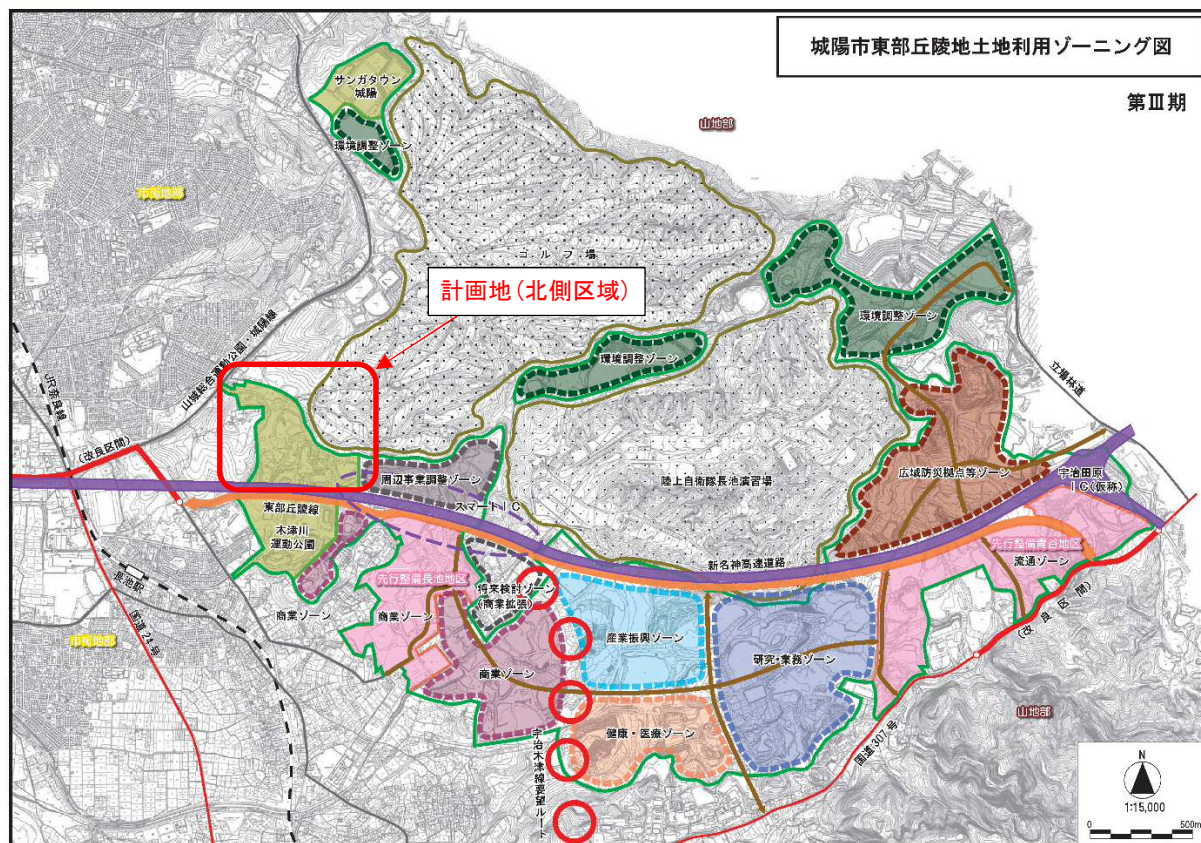


出典：LOGOS LAND ホームページ

図-12 城陽市総合運動公園の施設稼働率の状況

## 6. 将来土地利用計画（城陽市東部丘陵地）

木津川運動公園が位置する城陽市東部丘陵地は、山砂利採取跡地を活用して、新名神高速道路やアウトレットモールを始めとした段階的なまちづくりを進める計画となっています。



ゾーニング	時期※	土地利用概要
広域防災拠点等ゾーン	第Ⅰ期	宇治田原 IC（仮称）、自衛隊区域との連携により緊急災害支援活動の対応も可能な広域防災機能
先行整備長池地区	第Ⅰ期	スマート IC と直結し、JR 長池駅からも徒歩圏であり、アウトレットモールを整備中
先行整備青谷地区	第Ⅰ期	宇治田原 IC（仮称）と接した流通ゾーン
商業ゾーン	第Ⅱ期	広域からの集客を意識した賑わいのある商業機能
産業振興ゾーン	第Ⅱ期	地域マーケットや地域特産品などの流通・販売、地域産品の見本市市場などの開催地に利用
研究・業務ゾーン	第Ⅱ期	関西学術研究都市との立地利便性を活かした企業活動
商業拡張ゾーン・将来検討ゾーン（商業拡張）	第Ⅱ期	先行整備エリアの拡張の可能性や商業ゾーンの拡張を見込む
健康・医療ゾーン	第Ⅲ期	周辺の温泉、病院、福祉施設等と連携した高齢者の健康医療ゾーン

※第Ⅰ期：新名神高速道路未供用、第Ⅱ期：令和5年度新名神高速道路供用以降、

第Ⅲ期：最終土地利用段階

出典：「城陽市東部丘陵地整備計画【見直し版】」（城陽市、平成28年5月）

図-13 城陽市東部丘陵地整備計画【第三期】の概要

## 7. 将来道路計画

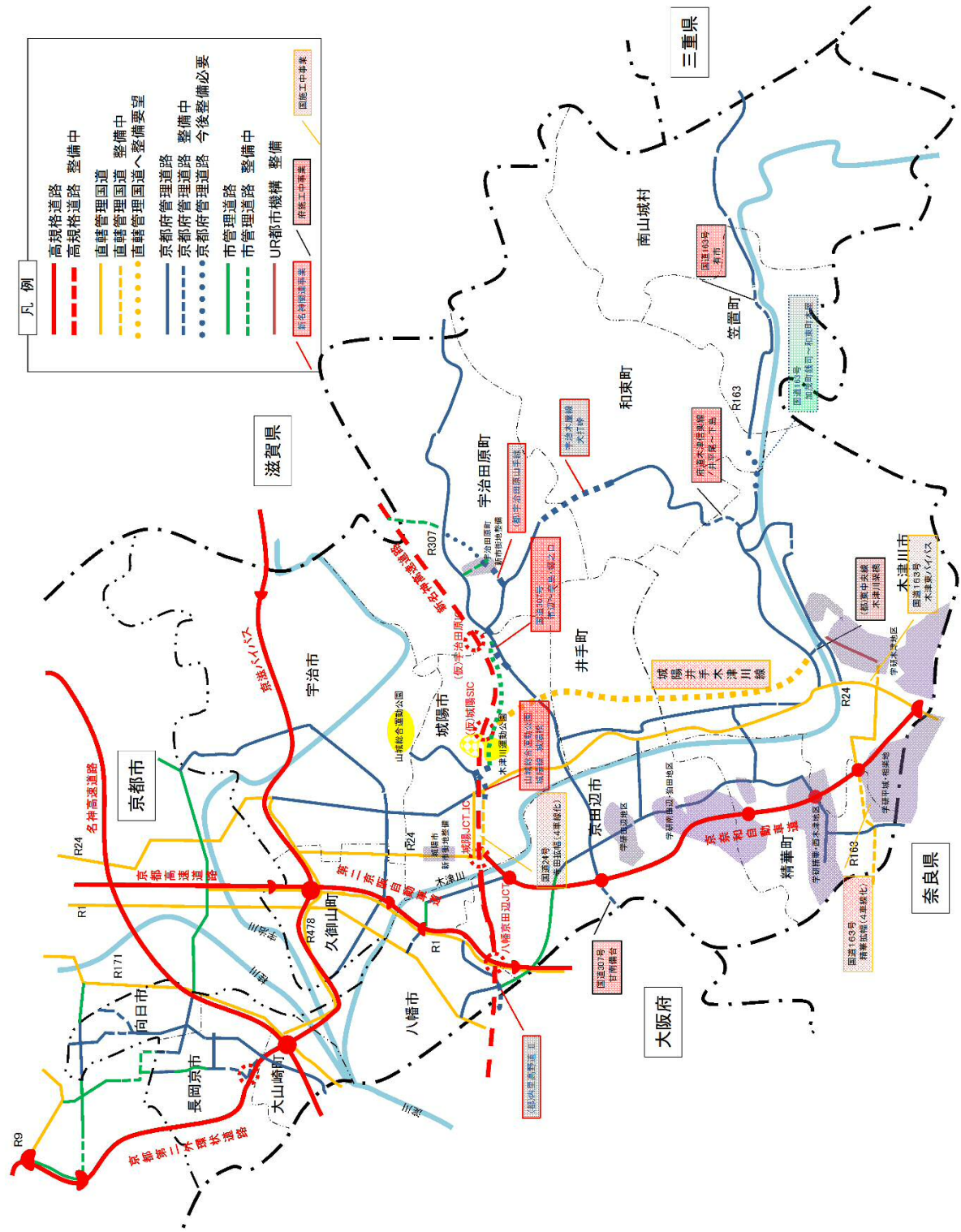
- 木津川運動公園の北側区域と南側区域を挟んで東西方向に、新名神高速道路（併せて城陽スマートIC（仮称））が令和5年度に開通する予定となっています。
- そのほか、木津川運動公園から西側の城陽市街地側の一般国道24号線の4車線化（寺田拡幅事業）や南側からアクセスさせる一般国道24号線城陽井手木津川バイパスなどの整備が計画されています。



路線名	計画交通量	出典
新名神高速道路 (近畿自動車道名古屋神戸線)	城陽～高槻第一JCT 35,800～41,000台/日 大津JCT～城陽 45,700～51,100台/日	NEXCO西日本 平成29年度事業再評価（原案）
一般国道24号 城陽 井手木津川バイパス	12,900台/日	国土交通省 平成31年度新規事業採択時評価結果
都市計画道路 東部丘陵線	10,300～13,100台/日	国土交通省 平成30年度事業継続箇所再評価結果

図-14 木津川運動公園周辺の道路整備計画

# 山城広域振興局管内の主な幹線道路ネットワーク



## 8. 計画地の地盤条件

- 北側区域は、敷地内の高低差が大きく、南側と北側では最大 20m 程度の高低差があります。
- 山砂利採取後に埋戻しを行っているため、地盤の強度が弱く、重量構造物などを建設することが困難な地盤条件となっています。

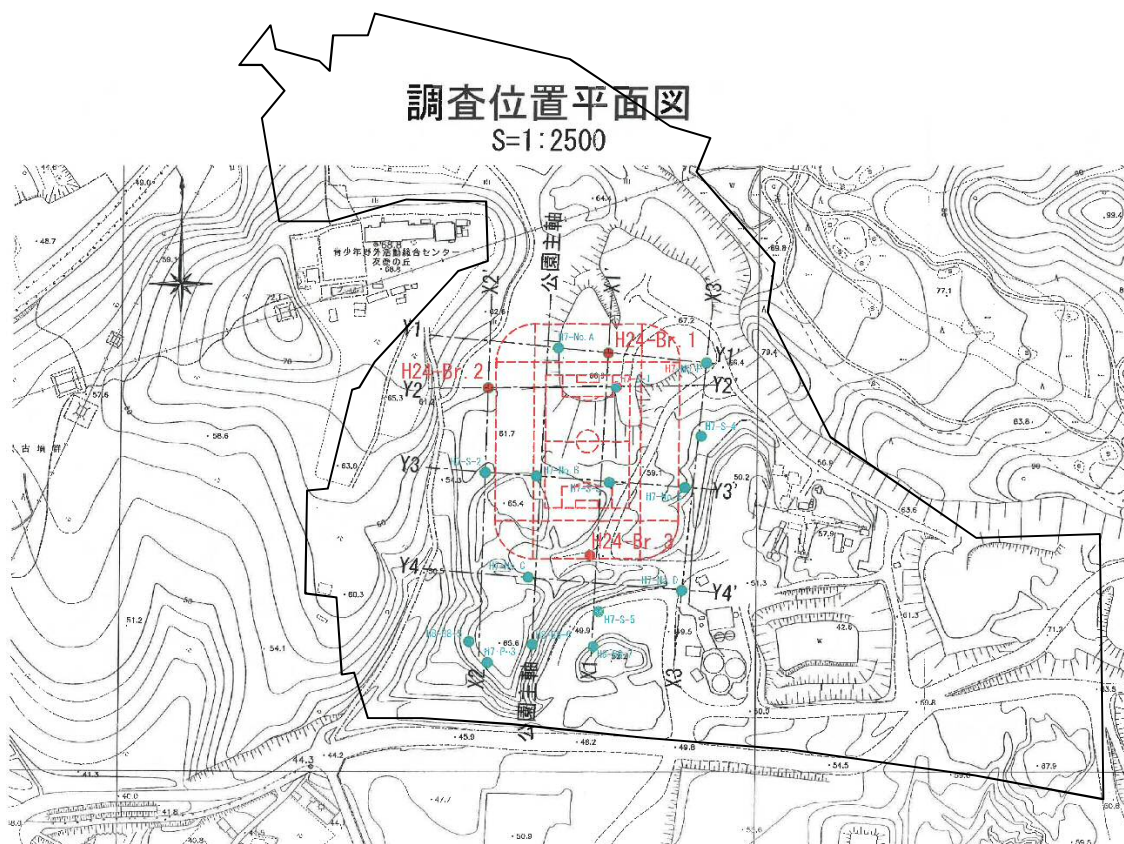


図 6.1.2 調査位置平面図 (S=1:2500)

図-15 木津川運動公園（北側区域）の地盤調査位置図

# 地質推定断面図

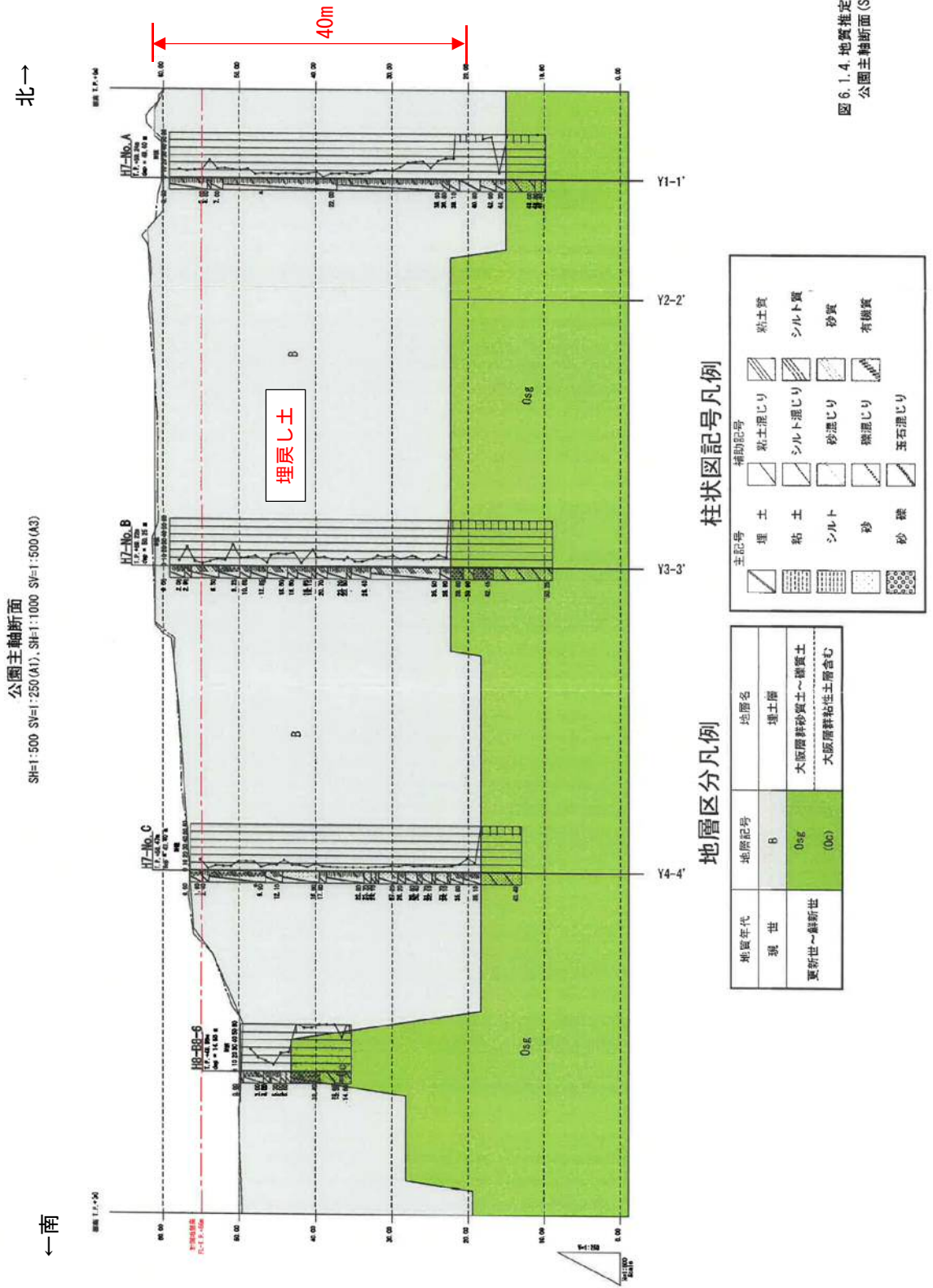


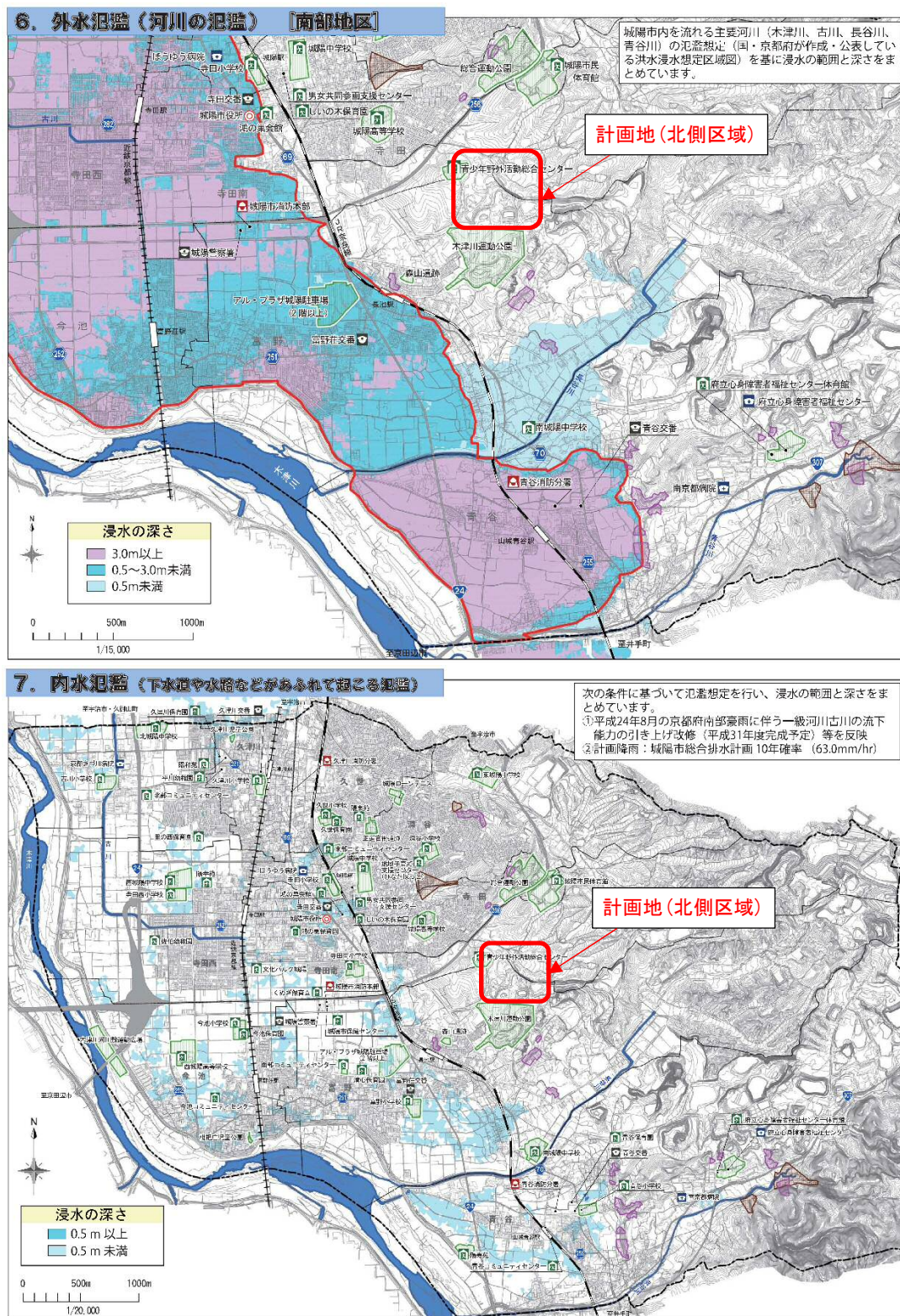
図 6.1.4. 地質推定断面図  
公園主軸断面 (S-図示)

図-16 木津川運動公園（北側区域）の地盤状況 公園主軸断面



## 9. 計画地のハザードマップ

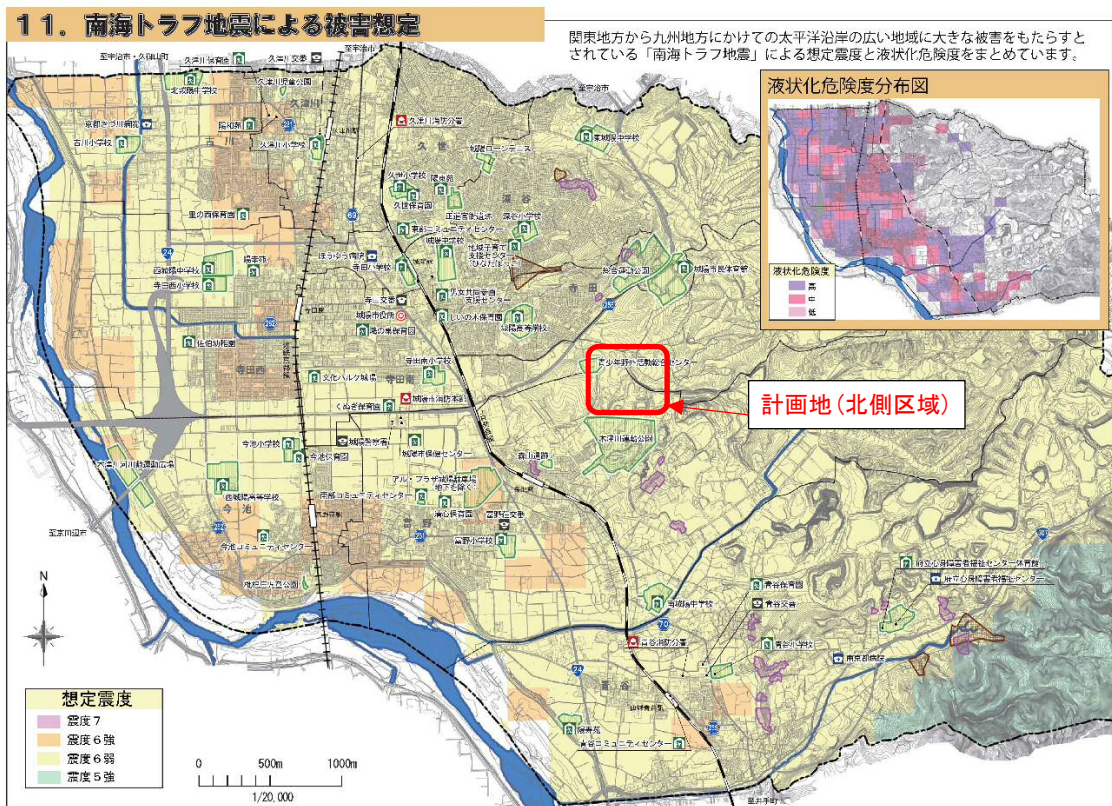
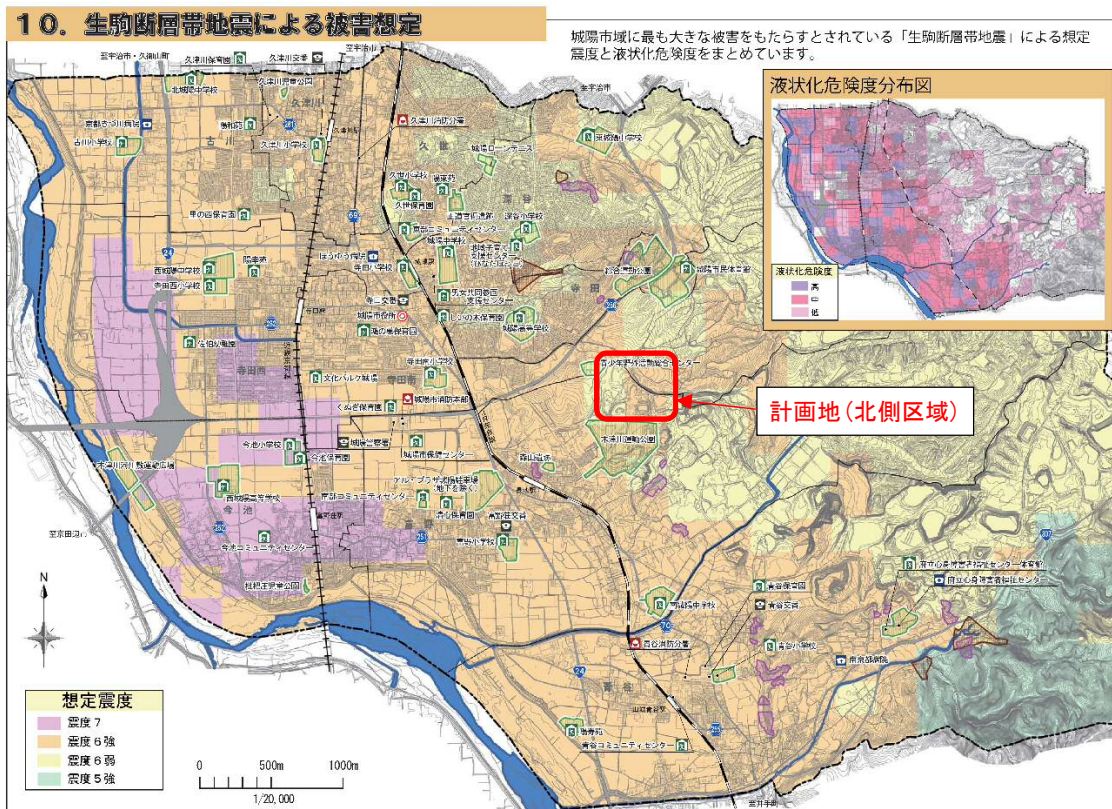
- 木津川運動公園（南側区域）は緊急避難場所に指定されていますが、浸水・土砂災害の被害想定エリアには該当しません。



出典：「城陽市防災ブック」（城陽市、平成 30 年 3 月）

図-17 洪水・土砂災害ハザードマップ

- 木津川運動公園(南側区域)は地震被害による被害想定は、生駒断層帯地震では想定震度6強~6弱、南海トラフ地震では想定震度6弱となっています。



出典：「城陽市防災ブック」(城陽市,平成 30 年 3 月)

図-18 地震災害ハザードマップ